



立志の丘

第11号
R4.6.7
西目中学校
文責：高野

新聞を教育に生かすNIE実践校になりました！

昨年度から完全実施となった新しい学習指導要領の一番のキーワードは「社会に開かれた教育課程」です。時代を見据え、これからの社会をより良くしていくための知恵と知識が必要です。本校は、その力を磨くために、今年度から3年間、新聞を教育に活用するNIEを活用した取組を推進する「NIE実践校」となりました。NIEは、Newspaper In Educationの頭文字で「新聞を学校の授業などに役立てよう」という活動です。早速5月30日（月）に、西中NIEのスタートとして、秋田魁新報社読者局NIE・読者交流部長、秋田県NIE推進協議会事務局長 **** 氏をお迎えして「NIE講座」を開催し、新聞の魅力や読むことの5つのメリット等について全校で研修しました。講座後半では、1B板***さん、2B柳***さん、3A齋***さんが積極的に質問するなど新聞への関心が高まった講座となりました。



毎週金曜はNIEタイム

金曜朝は「西中NIEタイム」です。気になる記事を切り抜いて、コメントを書いたり、同じ記事を読んで意見を交換したりする時間です。

今現在は、先週の切り抜きが、玄関前に掲示されています。記事やコメントを見合っ、自分の考えを広げていける場となっています。



5社の新聞読めます！



玄関ホールに「NIEコーナー」を設けています。今月は、①秋田さきがけ新聞、②読売新聞、③朝日新聞、④日本経済新聞、⑤読売中高生新聞、を



毎日読むことができます。図書委員会の提案で、気になる記事には、コメントを書いて付箋を貼っています。新聞で世の中について学びましょう！

NIE講座を終えて(振り返り)

【1年A組 齋****】

今日のNIE講座では、新聞の魅力やいいところをたくさん知ることができました。新聞の見出しなら私も気軽に読むことができるので、次からやってみようと思います。

それと同時に新聞を作る大変さが分かったので、頑張って情報を集めた記者さんに、感謝の気持ちをもって読みたいと思いました。

【2年A組 佐****】

NIE講座を通して、今までほとんどネットニュースしか見ていなくて、新聞は読まなくてもいいと思っていたけれど、メリットとして、ネットと違い、信頼性が高いということが分かりました。朝に見出しだけでも見てこようと思いました。それに、毎日読んで、苦手な国語の文章問題の克服につなげていきたいと思いました。

【2年B組 高****】

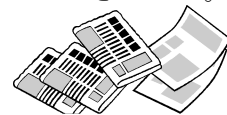
新聞は文字がたくさんあって、何から読めばいいか分からなかったけど、右上にトップ記事があることを知ったので、これからもっと積極的に読んでいきたいと思いました。また、新聞とインターネットでは、「信頼性」で違いがあるということに驚きました。

新聞を読むことは、ニュースを知れるだけでなく、正しい日本語や常識的なことも身に付くので、NIEの学習を大事にしたいです。

【3年A組 齋****】

図書委員会の取組として、毎日NIEコーナーに、各社の新聞を設置しています。全校のみんなにもっと読んでもらうために、図書委員長としてどんな方法があるか質問してみたら、いいアドバイスをもらうことができました。

今後の図書委員会活動に生かせそうなので良かったです。



令和4年度西目中学校NIE経営計画

1. ねらい

- (1) 新聞に触れることで、正しい情報を取捨選択し、読み解く情報活用力を高める。
- (2) 地域や社会の中で課題を見つけて自分の考えをもつことで、「問題に気付く力」、「総合的に考える力」の育成を図る。

2. 具体的実践

- (1) 新聞に触れる環境づくり
 - ・玄関前に新聞コーナーを設置し、新聞を手に取りやすい環境を整備する。
- (2) NIEタイムの実施
 - ・毎週金曜日の朝読書の時間をNIEタイムとし、新聞を使った学習活動を行う。学習シートを数種類用意し、新聞を様々な視点から読めるようにする。また、学習シートを掲示したり、学年で交流したりすることで、他学年の取り組みにも触れる機会を設ける。
- (3) NIE通信の発行
 - ・定期的にNIE通信を発行し、生徒の学習の様子や取り組みの進め方について、職員で共通理解を図る。また、生徒が家庭での学習に新聞を活用した学びを進めていくことができるよう、生徒向けのNIE通信を発行する。
- (4) NIE講座の実施
 - ・新聞社から講師を招き、新聞の魅力や読み方についての講話を全校で学び、NIE学習を効果的に進める。

